

# 頼朝起つ

## 鎌倉殿と坂東武者たち

— 浮世絵で見る頼朝拳兵の道のり —

名高百勇傳

### 源頼朝

清和天皇より十代左馬頭義朝の三男なり天性大度なり其勇表あり才智裏に満て小節の事とせげ自然と大将の器備で生年十三又て右兵衛佐に任む此年平治元十二月源平の戦ひ起り頼朝初陣あり拔擢の勳を著されども待賢門の軍破れ味方悉敗北して一族別れとなり頼朝の尾張國まで落られども其翌年春正月平家の侍弥平兵衛宗清を捕れ再洛へ上され清盛の継母他の禪尼を救れ伊豆國蛭ヶ小嶋に流されぬ後北條時政の婿となりあふ時と待て二十余年時をりて高倉の宮に令旨より伊豆の目代山木判官を討殺し相及石橋山を攻め本一敗するとの事なり再坂東の大軍を催して攻より駿及富士川にて戦す平家の大兵を追返す夫より弟の範頼を經小倉にて木曾と平氏と討め其身鎌倉の御所に入居る天下を掌握し終に大将軍に任じ建久の三野の將として美名を世に殘され

源頼朝の伝記的な説話。清和天皇の御孫、左馬頭義朝の三男として生まれ、天性の大度と勇武を有し、才智に満ちた小節の事とせげ、自然と大将の器備を得、生年十三で右兵衛佐に任じ、平治元年十二月、源平の戦いで初陣を演じ、拔擢の勳を著され、待賢門の軍に破れ、味方は悉く敗北し、一族は別れ、頼朝は尾張國まで落ち、翌年春正月、平家の侍彌平兵衛宗清を捕らえ、再洛へ上り、清盛の継母と他の禪尼を救い、伊豆國蛭ヶ小嶋に流され、後北條時政の婿となり、あふ時を待て二十余年、高倉の宮に令旨により伊豆の目代山木判官を討殺し、相及石橋山を攻め、本一敗するとの事なり。再坂東の大軍を催して、駿及富士川にて戦い、平家の大兵を追返す。夫より弟の範頼を經小倉にて木曾と平氏と討め、其身鎌倉の御所に入居る。天下を掌握し、終に大将軍に任じ、建久の三野の將として美名を世に殘され。



「名高百勇傳 源頼朝」歌川国芳

2022. 4.26 (火) ~ 7.10 (日)

休館日 月曜日 (祝日の場合翌火曜日)

浮世絵の祖出生地 きよなんの浮世絵ミュージアム

## 菱川師宣記念館

HISHIKAWA MORONOBU UKIYO E MUSEUM

〒299-1908 千葉県安房郡鋸南町吉浜516 ☎ 0470-55-4061

◆アクセス 電車 JR内房線 保田駅下車 徒歩15分  
車 富津館山道路 鋸南保田ICより5分 国道127号沿い 道の駅きよなん内

◆開館時間 9:00~17:00 (入館16:30まで)

◆入館料 一般/大学生 500円(400円) 小中高校生 400円(300円) ( )団体20名以上料金

「芳年武者无類 遠江守北條時政」月岡芳年



「賴朝決起 八牧館夜討図」歌川国芳



「治承四年兵衛佐源賴朝石橋山義旗揚図」歌川芳虎



「芳年武者无類 仁田四郎忠常」  
月岡芳年



「源平盛衰記 三浦大助義明」  
揚州周延



「土肥梶山旗揚」歌川芳虎



「賴朝安房洲崎明神參詣」歌川芳艶



「名譽八行之内 禮 島山重忠」  
月岡芳年

### 賴朝起つ ～鎌倉殿を支えた坂東武者たちの軌跡～

わずかな味方とともに伊豆で挙兵した源賴朝は、石橋山で大敗し、房総へ逃れました。無謀とも言われた彼の挙兵に大きく関わったのが、坂東武者たちです。平家の横暴な世の中に投じた一石は、やがて大きなうねりとなって賴朝を中心に坂東の豪族たちの蜂起を促したのです。賴朝旗揚げから敗戦、安房渡航、再起、鎌倉入りへ。北条氏、三浦氏、畠山氏、梶原氏、千葉氏、上総氏ら、賴朝を支えた豪族たちと合戦名場面の数々を江戸期の浮世絵版画で紹介。『絵本賴朝一代記』『賴朝旗揚高名双六』など珍しい資料も展示、賴朝挙兵の道のりと坂東武者たちの軌跡をたどる展覧会です。



「高名武者鑑 土肥次郎実平・実平妻」歌川芳虎



「鎌倉武衛勇士鑑」(範賴・賴朝・義経) 歌川三代豊国

**入館割引券**  
このチラシご持参の方  
**2割引**  
(1グループまで)

## 浮世絵の祖生地 きよなんの浮世絵ミュージアム 菱川師宣記念館 HISHIKAWA MORONOBU UKIYO E MUSEUM

千葉県安房郡鋸南町吉浜516 TEL 0470-55-4061  
◆アクセス 電車 JR内房線 保田駅下車 徒歩 15分  
車 富津館山道路 鋸南保田IC下車 国道127号沿い 道の駅きよなん内  
◆開館時間 9:00～17:00 (入館16:30まで)  
◆入場料 一般・大学生 500円 小中高校生 400円 (団体20名以上 2割引)  
※新型コロナウイルス感染拡大防止対策をおこなっています。

